新聞閲覧

編集長が選ぶこのニュース

伊ピエモンテ州責任者インタビュー

フィアットなど自動車産業を擁し、イタリア経済のエンジンともいえるピエモンテ州。テキスタイルも重要産業と位置付け「ピエラ・ジ・アート・オブ・エクセレンス」財団の支援をしている州商業・工芸局促進・融資部門責任者・ミレッカ・カルバーノさんのインタビュー記事から。

(「織研新聞」1月7日)

<コメント>

このインタビューでカルバーノさんはピエラについて

ピエラはイタリアの小さな一角に過ぎないが、高度な技術と伝統の詰った街の一つである

古くから紡績やテキスタイル産業が盛んで、各国の王侯貴族に愛用されてきたことでも有名である

伝統の上にアバンギャルドな精神を加え世界的に力を発揮している、と説明している。

「伝統と革新」をテーマにする風土はピエモンテ州そのものの精神であると、述べた同女史は「ピエラ・ジ・アート・オブ・エクセレンス財団」の活動も州と企業が支援しあう非常に良い関係で進んでいる、と強調「行政と民間企業の双方が共同し、新しい国際化の形を作り出していくことが、共通した目標である」と述べている。

同州の行政と民間の協力でできたピエラ・ジ・アート・オブ・エクセレンス・ブランドの今後が注目される。

(補足)「ピエラ・ジ・アート・オブ・エクセレンス」は03年に発足した産地振興組織そして産地ブランドである。エルメネジルド・ゼニア、ポット・ジュゼッペ、ルイジ・ポット、カルロ・バルベーラなどをはじめ35社が参加している。紡績から織り、仕上げまでの3工程のうち二つ以上がピエラで行われたテキスタイルを保証し、織りネームなどを発行している。製造過程の安全保証、情報開示を社会的責任としている。すなわち法的規制を上回るルールを生産者自らが取決め、互いに管理してくものだ。ピエラ産というだけではなく 製品の品質 地球環境への配慮 消費者の健康(無害)などでの取決めである。

「ウールビズ」を商標登録

トーア紡は糸、織物で「WOOLbiz」と「ウールビズ」を商標登録した。「ウールは冬、暖かく、夏、涼しく、人に快適で環境に優しい。トーア紡のこれからのコンセプトはウールビズ。現代人のウールへの回帰をウールビズという合言葉でイメージしてく」(同社)としている。

(「織研新聞」ほか)

<コメント>

夏のクールビズ、冬のウォームビズは政府が推進する地球温暖化防止キャンペーンの着用提案。ウールに絡ませた新語はマーケテ

ィング面では評価できるが……。今後の認知度が注目される。